

第164話 当町の庚申塔

中山町 歴史散策

表 本町の庚申塔

No.	銘文等	造立年		所在地	
		年号	西暦		
1	庚申供養塔	元文2	1737	桜町2	稲荷神社境内
2	青面金剛像	元文4	1739	〃	〃
3	乃至法界平等利塔	寛延3	1750	上町	ロータリー内
4	(青面金剛像)	寛延4	1751	柳沢1	坂の前地区
5	庚申供養塔	明和元	1764	柳沢4	御嶽神社境内
6	庚申塔	寛政元	1789	柳沢5	浦山地区
7	庚申塔	寛政2	1790	岩谷	柳沢新道脇
8	庚申塔	寛政11	1799	下川	中原地区
9	庚申塔	文化2	1805	金沢1	白山神社境内
10	庚申塔	文化7	1810	柳沢5	水上地区
11	庚申塔	文政13	1830	土橋6	月山神社境内
12	庚申塔	天保11	1840	川端	公民館前
13	庚申	安政6	1859	土橋2	玉昌寺境内
14	庚申塔	元治元	1864	梅ヶ枝町	お金壇
15	(青面金剛像)	不明		達磨寺1	八幡神社境内
16	(三猿像)	不明		〃	〃
17	庚申塔	不明		達磨寺	八幡神社本宮跡
18		不明		旭町1	斎藤茂氏宅
19	庚申塔	不明		西町	南端石子沢川沿い
20	(三猿像)	不明		落合	龍神神社境内
21	庚申塔	不明		柳沢4	御嶽神社境内
22	庚申供養塔	不明		柳沢6	川下地区
23	庚申塔	不明		小塩1	佐藤守氏宅

() は像

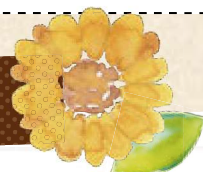
(中山町の文化財調査資料)

当町の各地には、庚申塔（青面金剛像を含む）が23基認められます。明治初期には、庶民信仰の多くは、神道に含まれない俗神として除かれ、恐らくは、地中に埋められたものも多くあると考えられます。それでも、これほどの碑が現存しているのは、往時の熱心な信仰をうかがわせ

るものです。古老の話では、明治以降も夜通し集まっては、真言を唱えて祈禱を行ったというのですが、道祖神崇拜と共に衰退したのだということのようです。

※引用 中山町史 中巻 第10章第1節 庶民と信仰

私たち地域おこし協力隊です！ No.31



こんにちは。だいぶ寒い季節になってきました。そろそろ初雪も近いかもしれませんね。

早いもので協力隊に着任させていただいてから丸3年となる3月が近づいてきました。よく聞かれるのですが、協力隊は制度で最長3年と定められており、延長はできません。昨年あたりから協力隊任期後どうするか…と腰を据えて考え始め、いろいろと悩むところもあったのですが、協力隊卒業後も、居れる限りは中山町に残れたらと決心しました。

町内の方々には本当にいろいろとお世話になり、皆さんの優しさに甘えさせていただいてばかりでした。至らないところだらけの私ですが、できることがあるならば少しでも恩返しできたらと思ってたことと、いつの間にか中山町にすごく愛着が湧いていたことに気づいたのが大きなきっかけになりました。

卒業後はもともと続けていたデザインの仕事を軸にしつつ、3年間お世話になった柏倉家にも何か恩返しできるように取り組んでいければと考えています。いまはその拠点として上町にある空き家をお借りして、左治木さんも一緒に何人かでリノベーション作業を進めています。



ここが私の新しい拠点です

残りの協力隊期間はもちろん、改めて卒業後もよろしく願いいたします！

●協力隊への問い合わせ先● メール：nakayamanonaka@gmail.com 事務所：中央公民館2階